

明治学院大学国際学部附属研究所は、11月に開催した4回の公開セミナー「『アラブの春』を考える」の「まとめ」と同時に区民・学生にアラブ世界の今日の状況を理解してもらい、日本の問題として考えるきっかけを提供する無料のシンポジウムを開催します。

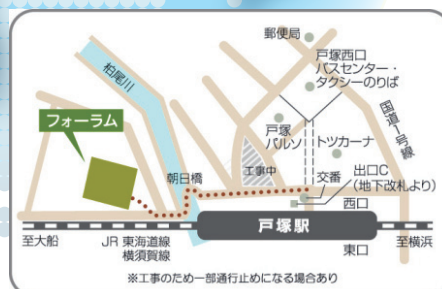
2012年度 公開シンポジウム

これからの日本とアラブ (中東/西アジア)

2010年末にチュニジアから始まったいわゆる「アラブの春」は、新しい中東の誕生を予感させつつも、現在、試行錯誤を繰り返しています。この潮流について、11月に開催した4回のセミナーを通して私たちは多様な角度から考えてきました。それをふまえて、日本とアラブ(中東/西アジア)のこれからを考えます。

日時 2012年12月7日(金)
14:00~18:00 (開場 13:30)

会場 男女共同参画センター横浜
1階ホール (定員 300名)
JR・横浜市営地下鉄戸塚駅西口 徒歩5分



- 無料、事前申し込み不要です。直接会場にお越しください。
- 公共交通機関をご利用ください。

◆プログラム◆

- 14:00-14:15 開会の辞
14:15-14:45 基調講演 **大川玲子** (明治学院大学准教授)
14:45-16:30 報告
ホサム・ダルウィッシュ (ジェトロ・アジア経済研究所研究員)
アブドラー・アルモーメン
(東海大学講師、サウジアラビア王国大使館文化部)
アミル・バフラム・アラブ・アフマディ (テヘラン大学准教授)
16:30-16:40 休憩
16:40-17:30 パネリストによる全体ディスカッション
17:30-17:50 質疑応答
17:50-18:00 閉会の辞

Housam DARWISHEH ホサム・ダルウィッシュ

【報告】シリアとアラブの春：シリアと他のアラブ諸国の違いは何か？

ジェトロ・アジア経済研究所研究員 1979 年生

専門：中東政治

- ・「エジプト政治の民主化と社会運動」、酒井啓子編『中東政治学』有斐閣、2012 年。
- ・「アラブ世界の新たな反体制運動の力学」、酒井啓子編『アラブ大変動を読む』東京外国語大学出版会、2011 年。
- ・“Political Activism under Mubarak’s Electoral Engineering in the 1980s,”『日本中東学会年報』、2008 年。



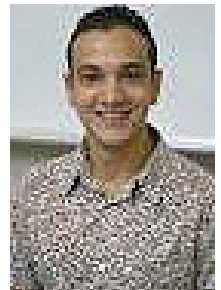
Abdalla ALMOAMEN アブドラー・アルモーメン

【報告】国難にて、日本の存在感

東海大学講師 サウジアラビア王国大使館文化部 1975 年生

専門：アラビア語通訳、言語研究家

- ・『地図が読めないアラブ人、道を聞けない日本人』小学館、2010 年。
- ・『アラビア文字練習プリント』小学館、2006 年。
- ・連載「アラブ人取り扱い説明書」『ドバイ・ビジネス・トゥデイ』、CONEX Asia Network



Amir Bahram ARAB AHMADI アミル・バフラム・アラブ・アフマディ

【報告】なぜ、北アフリカで「アラブの春」は始まったか

テヘラン大学准教授 1968 年生

専門：アフリカ

- ・ *Zimbabwe the land of eternal mysteries*, institute of research and knowledge development, 2003.
- ・ *Tanzania an evergreen land*, Al Huda, 2005.
- ・ *Islam in East Africa*, Institute of Culture and Islamic Thought, 2012.



大川 玲子 オオカワ・レイコ

【基調講演】「原理主義」を超えて、新しいイスラーム理解へ

明治学院大学准教授 1971 年生

専門：イスラーム思想研究（コーラン研究）

- ・『聖典「クルアーン」の思想 イスラームの世界観』懇談社現代新書、2004 年。
- ・『図説コーランの世界 写本の歴史と美のすべて』河出書房新社、2005 年。
- ・『イスラームにおける運命と啓示』晃洋書房、2009 年。

